

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書 (Web 公開用)

申請者 (ふりがな)	加藤 圭太 (かとう けいた)
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	人間科学研究科 博士後期課程 2年
発表年月 または事業開催年月	2024年12月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	2024年度第2回日本科学教育学会研究会 (若手活性化委員会開催) 大阪教育大学 天王寺キャンパス
発表者 (※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	加藤圭太, 森田裕介
発表題目 (※学会発表の場合のみ記載)	通信制高校における数学指導の実態と課題に関する予備的検討
<p>発表の概要と成果 (抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。)</p> <p>本研究の目的は、通信制高校の数学指導における困難さや実践の実態を明らかにすることである。公立通信制高校の数学科教員 9 名を対象にフォーカス・グループを実施し、質的な分析を行った。その結果、通信制高校の数学指導には、「レポートによる自学自習が中心」や「面接指導の時間数が少ない」といった制度上の特徴、「不登校経験」や「学力層の幅広さ」、および「算数のつまずき」といった生徒の特徴が、指導の困難さにつながる要因として挙げられた。これらの要因により、「印刷教材による自学自習支援の限界」や「様々な個人差への対応」など、数学指導における多様な困難さが生じていた。これらの困難さを克服するために、「デジタル教材の充実化」や、面接指導内外での個別支援などの実践的な工夫が行われていた。</p> <p>https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsser/39/2/39_No_2_240221/_article/-char/ja</p>	

※無断転載禁止